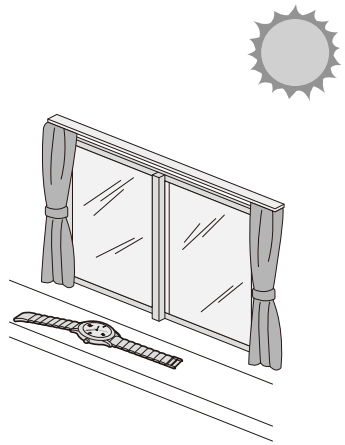
CITIZEN®

取扱説明書

■十分に光を当てて充電してからご使用ください■

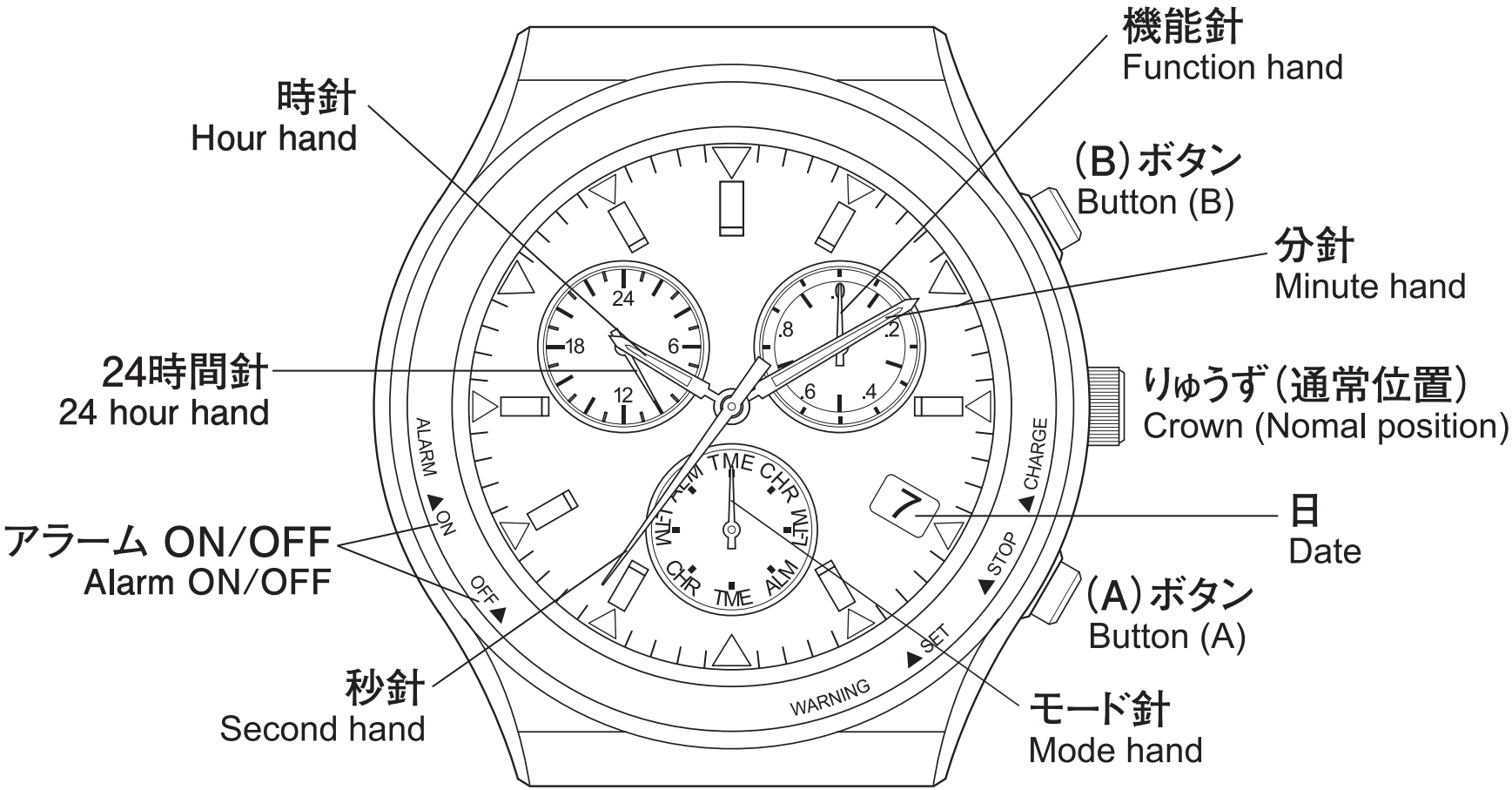
ご使用中に時計の秒針がCHARGEを指したら、充電不足をお知らせしています。特に冬場は衣類などで時計が隠れ、光が当たりにくくなりますので、月に一度は直射日光に当てて充電してください。快適にご使用いただくためには、常に充電を心がけてご使用いただくことをおすすめいたします。



■Please fully charge your watch before use by exposing it to light■

If the second hand of the watch points to the CHARGE position during use, this means that the watch is insufficiently charged. Since the watch may be covered by clothing and so forth particularly during the winter preventing it from being exposed to light, charge the watch once a month by exposing to direct sunlight. In order to ensure that the watch is used comfortably, it is recommended to try to keep the watch charged at all times.

各部の名称 Names of Components

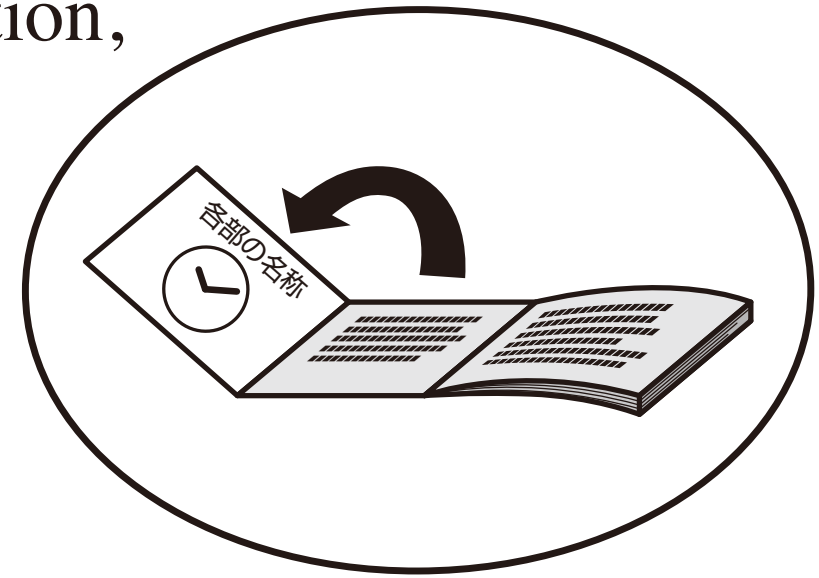


お買い上げいただいた時計と取扱説明書のイラストは異なる場合があります。

The illustrations shown in this manual may differ from the actual watch you have purchased.

この取扱説明書をお読みになるときは、
左の「各部の名称」のページを開いて、
時計のイラストを見ながら操作を行なってください。

When reading this instruction,
open the foldout page
“Names of Components”
on the left to show the
illustration of this watch.



このたびは、シチズンウオッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいます
ようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

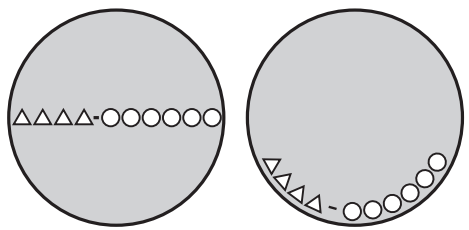
シチズンホームページ（http://citizen.jp/）でも操作説明がご覧いただけます。

また、モデルによっては、外装機能（計算尺、タキメーターなど）が搭載されているものもあり、取扱説明書に記載されていない外装機能の操作も同様にご覧いただけます。

機種番号の見かた

時計の裏ぶたに、アルファベットを含む 4 ケタと
6 ケタ以上からなる番号が刻印されています。（右図）
この番号を「側番号」といいます。
側番号の先頭の 4 ケタが機種番号になります。
右の例では「△△△△」が機種番号です。

刻印の位置の例



時計によって表示位置は異なります。

安全にお使いいただくために—必ずお読みください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の 程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険	この表示の欄は、 「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
⚠ 警告	この表示の欄は、 「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが 発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）

⚠	このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。
⃠	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

・保護シールについて

時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

・バンド調整について

お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする怖れがあります。(製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く)
バンドの調整は、お買い上げ店または、シチズンカスタマーサービスお客様修理受付係にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

目　次

特長……5
充電時間の目安表 ……8
1. モード（表示機能）の切り替え方 …… 15
2. 時刻、カレンダーの合わせ方 …… 16
・時刻の合わせ方 …… 16
・カレンダーの合わせ方 …… 18
3. クロノグラフの使い方 …… 21
4. ローカルタイムの合わせ方 …… 23
5. アラームの使い方 …… 25
6. 各針の基準位置確認と修正 …… 27
7. オールリセットについて …… 31
エコ・ドライブ取り扱い上の注意 …… 33
お取り扱いにあたって …… 35
保証とアフターサービスについて …… 44
仕様 …… 46
お問い合わせ窓口 …… 48

特　長

・この時計は文字板面にソーラーセルを配し、光エネルギーを電気エネルギーに変換して時計を駆動させるエコ・ドライブウオッチです。

・日が自動的に切り替わるパーペチュアルカレンダー（うるう年を含む2100年2月28日までの年、月、日が自動的に切り替わります）や、24時間制でセットできるデイリーアラーム、1/20秒単位で59分59秒95まで計測できるクロノグラフなどの機能を搭載しています。

・日頃から文字板に光をあてましょう

この時計には電気エネルギーを蓄えるために二次電池が使われています。この二次電池は水銀などの有害物質が一切使われていないクリーンエネルギー電池です。一度充電完了すると約２年間（パワーセーブ機能作動時）は充電しなくても時計は動き続けます。

・時計を快適にお使いいただくには

時計を快適にお使いいただくために、次のことを行ってください。

・月に一度は長時間直射日光に当てて、５～６時間充電する。
・光の当たらない場所での長期保管は避けてください。

・衣服などで時計が隠れて光に当たらないと、十分に充電できないのでご注意ください。
・高温下（約 60℃以上）での充電はおやめください。

充電時間の目安表

連続して照射した場合の数値です。目安としてご利用ください。

環 境	明るさ (lx、ルクス)	充電時間（約）		
		通常に動く状態を1日保つ	時計が停止してから通常に動き出すまで	時計が停止してから充電完了まで
屋外（晴天）	100,000	2分	1時間	6時間
屋外（曇天）	10,000	11分	4時間	45時間
30W蛍光灯の20㎝下	3,000	35分	13時間	150時間
屋内照明	500	3.5時間	80時間	—

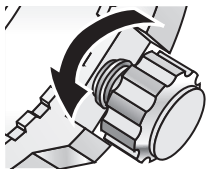
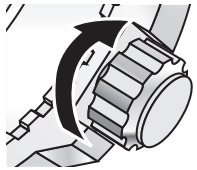
＊最大まで充電する場合、直射日光での充電をおすすめします。
　蛍光灯や屋内照明では、最大まで充電するには明るさが不十分です。

・特殊な構造のりゅうずについて

モデルによっては、誤操作を防ぐため、次のような構造のりゅうずの場合があります。

ねじロックりゅうずの使い方

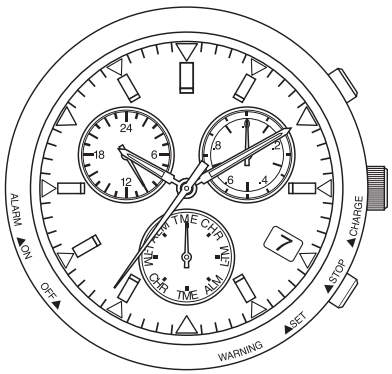
時計を操作するときは、ロックを解除してください。

	ロックを解除する	再びロックする
ねじロックりゅうず	 りゅうずが飛び出すまで、左に回す	 りゅうずを押し込みながら右に回し、しっかり締める

この時計は充電不足になると、秒針が各文字の警告表示に自動的に移動し、
「充電警告」および「時刻合わせ告知」をお知らせします。

充電不足にならないように常に充電を心がけてお使いください。

【通常時刻表示】



充電不足になると

充電していくと

秒針が「**SET**」位置を指しているとき時刻合わせを行うことを意味します。
必ず現在時刻にセットしてください。（“2. 時刻、カレンダーの合わせ方”参照）

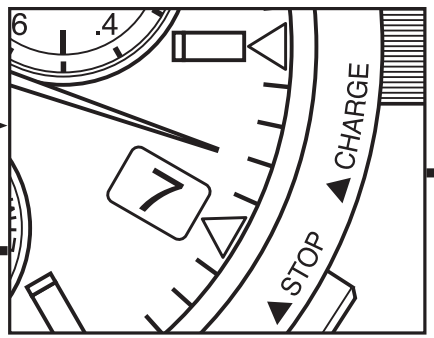
注意　時刻合わせを行わないと通常時刻表示にもどりません。

【通常時刻表示から充電不足になった場合】

充電不足になった場合は早めに充電し、もとの通常運針（通常時刻表示）にもどしてください。

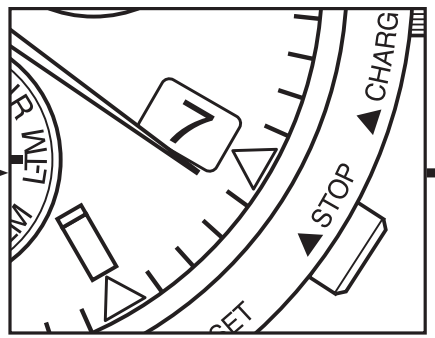
【充電警告表示】

秒針が「**CHARGE**」を指す



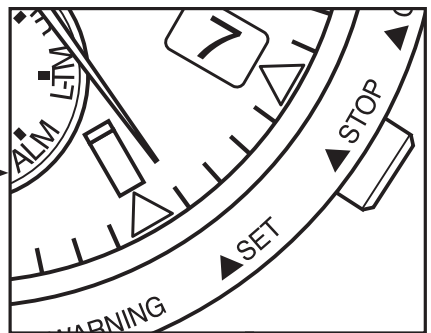
【停止状態】

秒針が「**STOP**」を指す



【時刻合わせ告知表示】

秒針が「**SET**」を指す



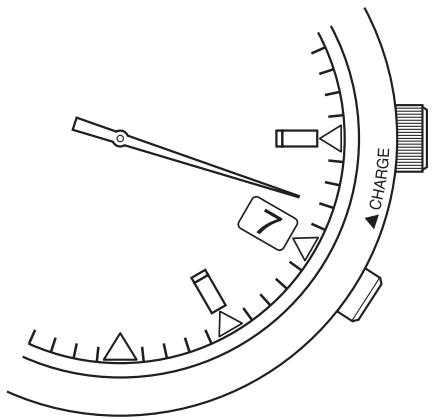
充電せず
時計を放置していると

光を照射して充電を行うと、
秒針は「**STOP**」位置から
「**SET**」位置へ移行する。

注意 ：「**SET**」位置へ秒針が移行するまで、光を当てて充電（約 30 分以上）してください。

＜充電警告機能＞

時計がどの表示をしていても、充電不足になると時刻表示に切り替わり、秒針が「**CHARGE**」位置に移動して、充電不足であることを知らせます。このときも時計は正確に動いていますが、約 11 日経つと時計は止まってしまいます。光を当てて充電し、もとの 1 秒運針にもどしてください。
ただし、充電不足で停止した後、光が当たり充電警告表示になったときは時間がずれているため、充電後、時刻合わせを行ってください。

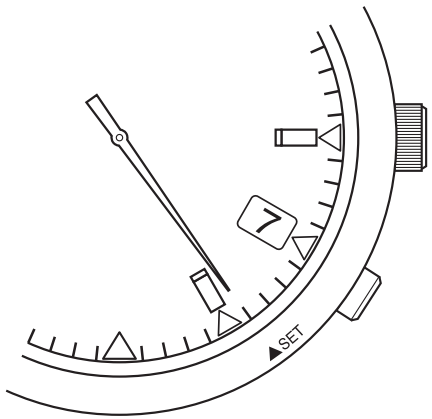


注意：

- クロノグラフは計測中でも計測を中止しリセットされます。
- ローカルタイムはセットした時間（時差）が保持されます。
- アラームはセットされていてもアラーム音は鳴りません。
- りゅうず（モード切り替え）および、ボタン操作は機能しません。

＜時刻合わせ告知機能＞

時計が停止した後、再び光を当てて充電していくと、秒針が「**SET**」位置に移動し、時刻がずれていることを知らせます。秒針が「**SET**」位置に移動した後、24 時間針、時針、分針は運針を開始しますが、時刻がずれているため十分に充電した後、時刻およびカレンダーを合わせ直してください。



注意

- 時刻／カレンダー合わせ操作以外のりゅうずおよび、ボタン操作は機能しません。
- 時刻／カレンダーモードでりゅうずを 2 段引き（時刻修正状態）すると、時刻合わせ告知機能が解除されます。りゅうずを 2 段引きし、時刻合わせをしないと、秒針が「**SET**」位置に停止したままです。
- 充電不足で停止した場合、十分光を当ててください。時刻合わせ告知表示（「**SET**」）に切り替わるまで、約 30 分かかります。

＜過充電防止機能＞

二次電池が十分充電されると、それ以上は充電されないように過充電防止機能が働きますので安心して充電できます。

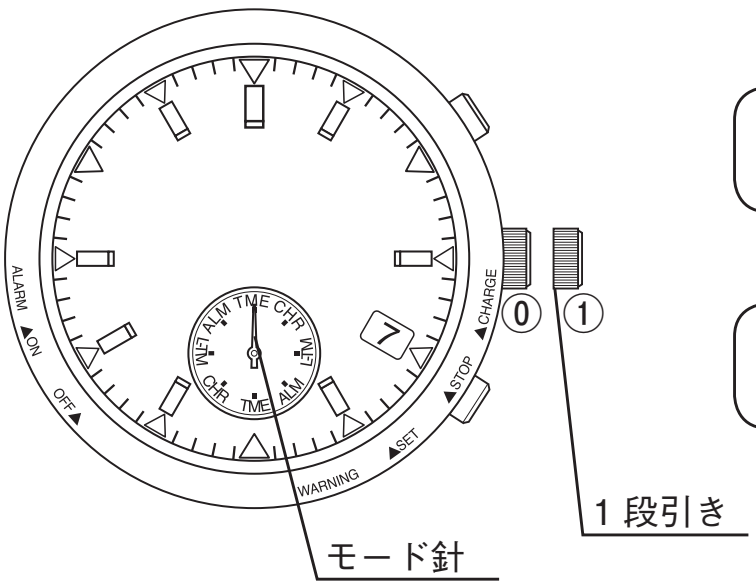
＜パワーセーブ機能（節電機能）＞

時刻／カレンダーモード（「**TME**」）または、ローカルタイムモード（「**L-TM**」）でソーラーセルに約 30 分以上光が当たらず発電が行われないと、秒針が 0 秒位置にきて停止し、エネルギーを押さえるためパワーセーブ状態になります。
秒針が停止状態でも、24 時間針、時針、分針は正しい時刻を刻み続けます。
なお、カレンダーは 24 時間針、時分針に連動して修正されます。

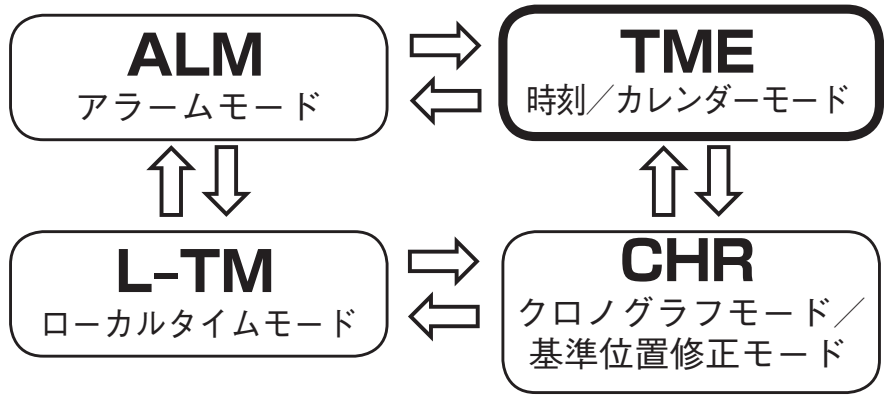
- パワーセーブを解除するためには、時計（文字板面）に光を当てて、充電する必要があります。ただし、充電警告状態のときは秒針が「**CHARGE**」位置で停止し、時刻合わせ告知状態のときは秒針が「**SET**」位置で停止し、停止状態のときは秒針が「**STOP**」位置で停止したままです。

1. モード（表示機能）の切り替え方

この時計は、時刻／カレンダー、クロノグラフ、ローカルタイムおよびアラームの４つのモードを持っています。
りゅうず１段引き位置で回転させるとモードが切り替わりますので、モード針で現在のモードを確認してください。



【モード／表示機能】



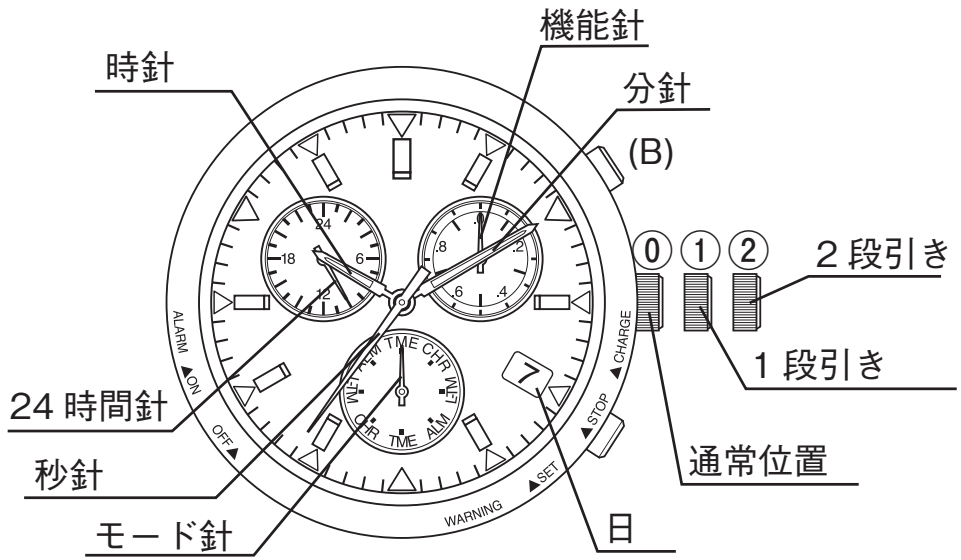
りゅうずが 1 段位置のとき、秒針は 30 秒位置を指します。

2. 時刻、カレンダーの合わせ方

カレンダーは一度合わせると、うるう年を含めた年、月、日が自動的に切り替わるパーペチュアルカレンダーです（2100 年 2 月 28 日まで）。

【時刻の合わせ方】

1. りゅうずを 1 段引き位置にします。
   りゅうずを回転させてモード針を時刻／カレンダー「**TME**」モードに合わせます。



2. りゅうずを2段引き(時刻合わせ位置)にし、(B)ボタンを押します。
・秒針が 0 秒位置まで早送りされ停止します。

注意

・(B)ボタンを押すごとに、修正可能箇所(針／日)が動きます。
・0秒位置で停止しない場合は、「基準位置修正モード」で基準位置合わせを行ってください。

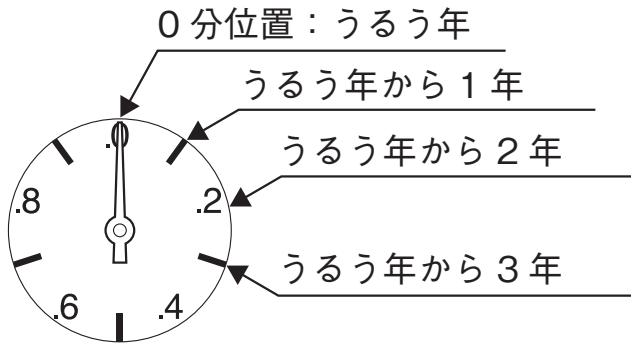
3. りゅうずをクリック(回転)して時刻合わせをします。
(1) 右に 1 回クリックすると、24 時間針、時分針が正転(時計回り)します。
(2) 左に 1 回クリックすると、24 時間針、時分針が逆転(反時計回り)します。
・りゅうずを素早く連続 2 回以上回すと 24 時間針、時分針が早送りします。
早送りを途中で停止させる場合は、りゅうずを左右どちらかに回してください。

【カレンダーの合わせ方】

4. (B) ボタンを押すと、年（うるう年からの経過年）が修正できます。
りゅうずを回して、年（うるう年からの経過年）に対応した位置に
機能針を合わせます。

＊年の見方／機能針の位置＊

うるう年　　：0 分位置
うるう年から 1 年目　：6 分位置
うるう年から 2 年目　：12 分位置
うるう年から 3 年目　：18 分位置



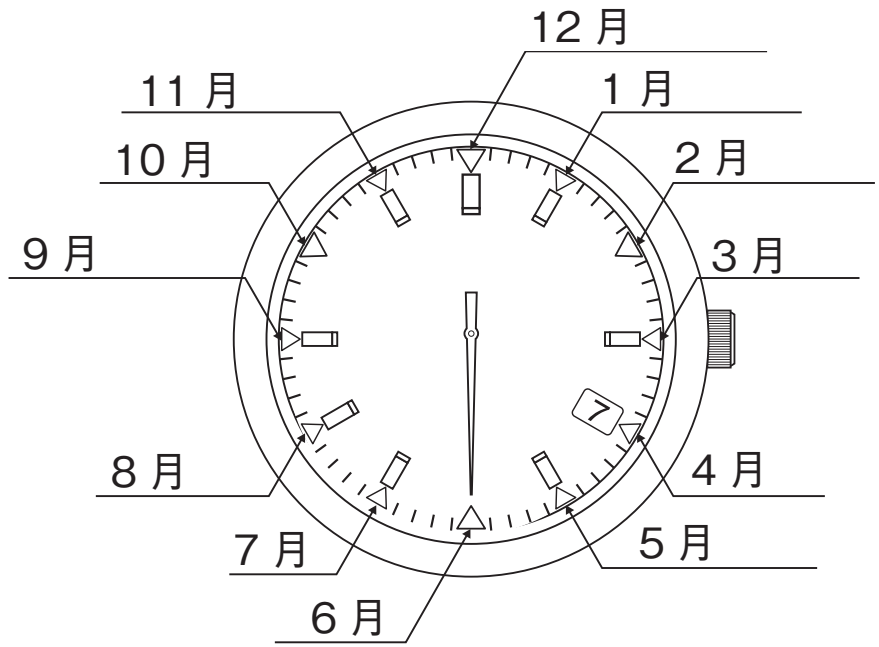
うるう年からの経過年早見表

経過年	年
うるう年	2016、2020、2024
1 年目	2017、2021、2025
2 年目	2014、2018、2022
3 年目	2015、2019、2023

5. (B) ボタンを押すと月が修正できます。
   • りゅうずを右に回して、月に対応した位置に秒針を合わせます。
     月は、右回転のみで修正できます。
     秒針が月を指し示します。

＊月の見方／秒針の位置＊

1 月　：1 時の位置
2 月　：2 時の位置
3 月　：3 時の位置
⋮
12 月　：12 時の位置



（例：6 月）

6. (B) ボタンを押すと日の修正ができます。
   • りゅうずを右に１回クリックすると、機能針が４回転し、日が１日分修正されます。
   • りゅうずを連続２回以上回すと、連続送りになります。途中で停止させる場合は、りゅうずを左右どちらかに回してください。
7. 日を合わせた後は、りゅうずを通常位置にもどして時刻・カレンダー合わせが終了します。

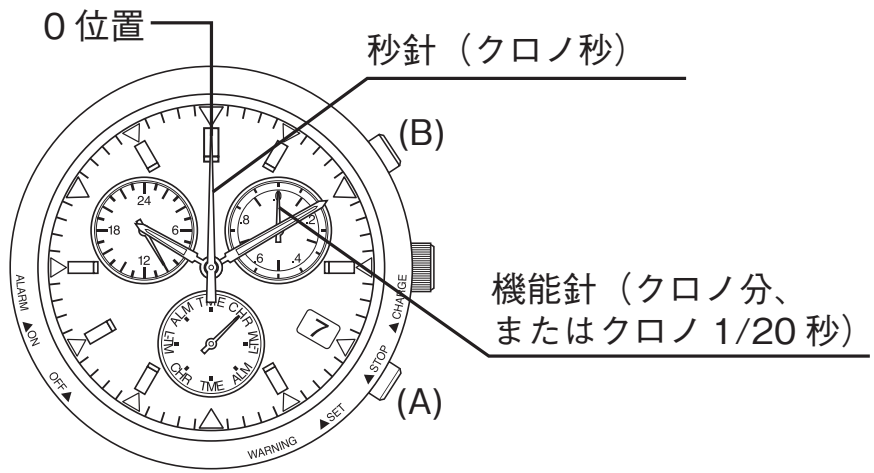
りゅうず２段引き位置で (B) ボタンを１回押すごとに、修正モードが切り替わります。

・(B) ボタンを押すごとに、デモンストレーション動作して、修正箇所をお知らせします。

3. クロノグラフの使い方

クロノグラフ計測は 1/20 (0.05) 秒単位で 59 分 59 秒 95 まで計測でき、その後は 0 秒にリセットされ、自動停止します。

【クロノグラフ計測時の針の見方】
モード針をクロノグラフ「**CHR**」に合わせると、秒針、機能針が 0 位置に早送りされクロノグラフモードになります。

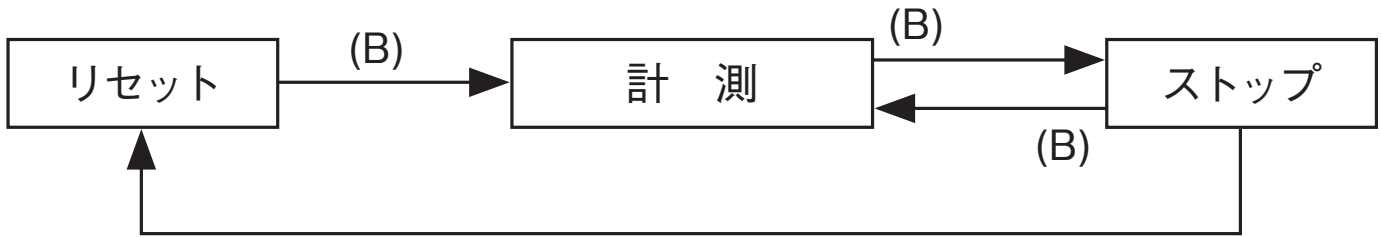


秒　針：クロノ秒針に切り替わります。
0 秒スタート時のみ、秒針が早送りで一周し、その後クロノ秒として 1 秒運針を行います。

機能針：クロノ分またはクロノ 1/20 秒に切り替わります。クロノ分として 1 分毎に運針します。クロノストップ状態で (A) ボタンを押すと、押している間クロノ 1/20 秒表示に切り替わります。

【クロノグラフ計測】

1. りゅうず1段引き位置で回転させて、モード針をクロノグラフ「**CHR**」モードに合わせます。合わせた後、りゅうずを通常位置にもどします。
2. 秒針が 30 秒位置から 0 に移動します。
   (B) ボタンを押すと、押す毎に確認音が鳴り、スタート、ストップをくり返します。
3. クロノストップ状態で (B) ボタンを押し続けると、クロノ秒針とクロノ分針が 0 位置にリセットされます。



(B) ボタンを約２秒、押し続ける

注意

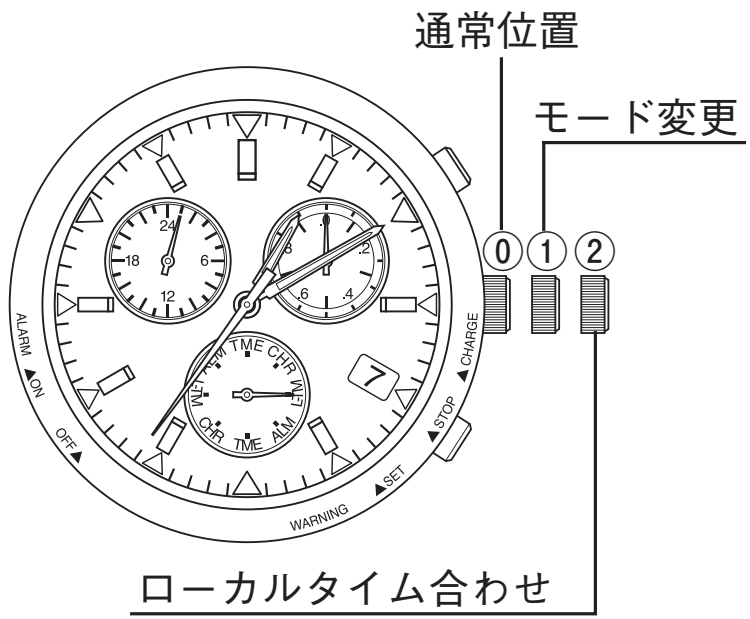
計測終了後は、必ずリセットしてください。エネルギーの消費を抑えることができます。

4. ローカルタイムの合わせ方

ローカルタイムは、現在時刻とは別に他の地域の時刻をセットできる機能です。
現在時刻（時刻モード／「**TME**」）を基準に、1時間単位で時差修正ができます。
分、秒針は現在時刻に連動しています。

【時差の修正方法】

1. りゅうず1段引き位置で回転させてモード針をローカルタイム「**L-TM**」モードに合わせます。
2. りゅうずを2段引き（ローカルタイム合わせ位置）にします。



3. りゅうずを右または左にクリックして、時差を修正します。
   - 右に回転すると、時針が 1 時間分正転（時計回り）します。
   - 左に回転すると、時針が 1 時間分逆転（反時計回り）します。
   - 早回転（連続 2 回以上クリック）すると早送りします。早送りを途中で停止させる場合は、りゅうずを左右どちらか 1 回クリックしてください。なお、時差修正の範囲は、現在時刻を基準に± 27 時間の範囲です。
   - 24 時間針を目安にして、午前／午後をまちがえないようにセットしてください。

注意

・午前 0 時を通過する際には、日が 1 日分修正されます。
・時差を元に戻す際は、セットと反対方向に針を戻してください。

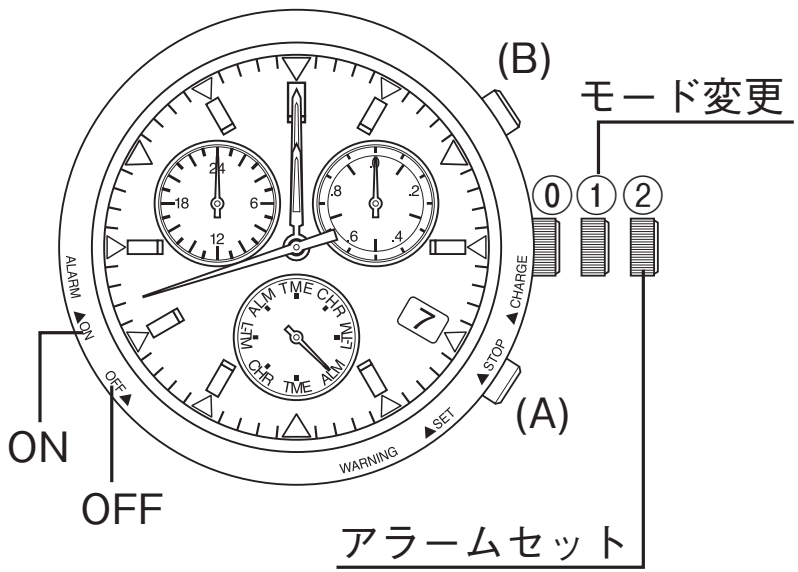
4. ローカルタイムセット後は、りゅうずを通常位置にもどしてセット終了です。

5. アラームの使い方

アラームは 24 時間制で、一度セットすると 1 日 1 回、セット時刻にアラーム音が 15 秒間鳴ります。
アラームが鳴る時刻は、時刻（「**TME**」）モードと一致したときで、ローカルタイム（「**L-TM**」）に合わせてセットはできません。

【アラーム時刻の合わせ方】

1. りゅうず 1 段引き位置で回転させてモード針をアラーム「**ALM**」モードに合わせます。
   ・秒針：30 秒位置を指します。
   ・24 時間針、時針、分針:前にセットしたアラーム時刻に移動します。
2. りゅうずを 2 段引き位置にします。
   ・アラームセットが自動的に ON に切り替わります。



3. りゅうずをクリック（回転）して、アラーム時刻を合わせます。
（1）右に１回クリックすると、時針、分針が正転（時計回り）します。
（2）左に１回クリックすると、時針、分針が逆転（反時計回り）します。
・早回転（連続２回以上クリック）すると早送りします。早送りを途中で停止させる場合は、りゅうずを左右どちらか１回クリックしてください。

注意　24 時間針を目安にして、午前／午後をまちがえないようにセットしてください。

4. アラーム時刻セット後は、りゅうずを通常位置にもどしてセット終了です。

【アラームの ON ／ OFF 切り替え】

アラームモードで、りゅうず２段引き位置で (B) ボタンを押すと、押す毎にアラームの ON ／ OFF が切り替わります。

【アラーム音モニター】

アラームモードでりゅうず通常位置のとき、(B) ボタンを押すと、押している間アラーム音が鳴ります。

【アラーム音の止め方】

アラームは、りゅうず通常位置のときに 15 秒間鳴ります。アラーム音を止める場合は、(A) または (B) ボタンを押してください。

6. 各針の基準位置確認と修正

この時計をご使用になる前に、この時計の機能が正しく作動する状態にあることを確認してください。

基準位置とは……この時計が正しく機能するための、基準となる針と日位置のことです。この位置がずれていると正しい表示をしません。

【基準位置確認】

1. りゅうず1段引き位置で回転させてモード針をクロノグラフ「**CHR**」モードに合わせます。
2. りゅうずを2段引き位置にし、基準位置確認します。
   24時間針、時針、分針、秒針、機能針および日が早送りされ、時計が記憶している基準位置に停止します。
3. 正しい基準位置を示しているか確認します。

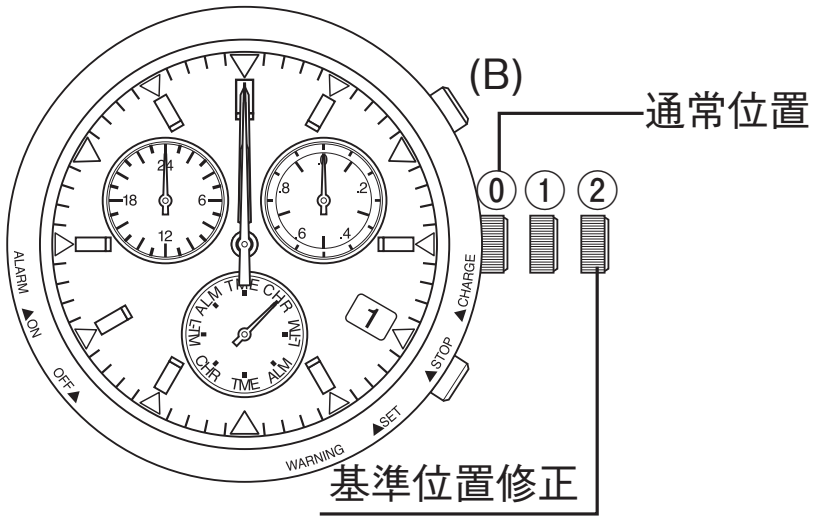
各針と日の正しい基準位置

正しい基準位置は次の通りです。

24 時間針：00 時 00 分
時針、分針：00 時 00 分
秒針：00 秒
機能針：0 位置（12 時位置）
日：1 日

各針および日が上記以外のときは、「基準位置修正」を行ってください。

【正しい基準位置】



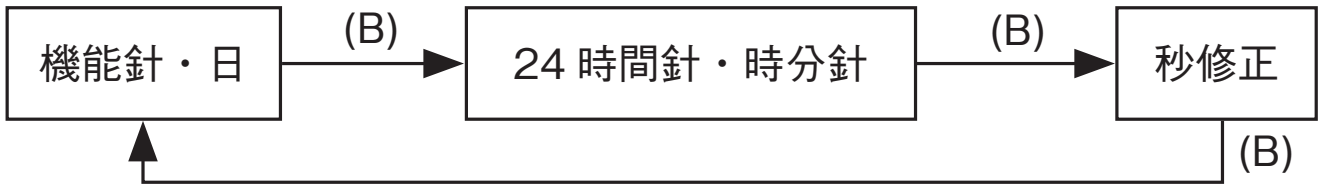
【基準位置修正】

＜機能針・日の基準位置修正＞

1. クロノグラフ「**CHR**」モードでりゅうずを２段引き位置にし、(B) ボタンを２秒以上押して、機能針・日を修正します。

2. りゅうずを左右にクリック（回転）して日を合わせます。
   (1) 1 回クリックすると機能針が 1 ステップ毎に動きます。
   (2) 早回転（連続 2 回以上クリック）すると、4 回転し、日が 1 日分修正されます。途中で停止させる場合は、りゅうずを左右どちらか 1 回クリックしてください。
   ・日が「31」から「1」に変わった直後の 12 時位置および機能針が「1」に替わった直後が基準位置です。日を 1 日にしてから、機能針が 12 時位置になるようにりゅうずを 1 クリックずつ回して合わせてください。

クロノグラフ「**CHR**」モードでりゅうず 2 段引きのとき、(B) ボタンを押すごとに修正モードが切り替わります。



<24 時間針、時分針の基準位置修正 >

1. (B) ボタンを押して、24時間針・時分針を修正します。

2.りゅうずをクリック（回転）して24時間針・時分針を合わせます。

(1) 右に1回クリックすると、時分針が正転（時計回り）します。

(2) 左に1回クリックすると、時分針が逆転（反時計回り）します。

・早回転（連続2回以上クリック）すると早送りします。早送りを途中で停止させる場合は、りゅうずを左右どちらか1回クリックしてください。

<秒針の基準位置修正>

・(B)ボタンを押して、秒針を修正します。

(1) 1回右にクリックすると秒針が1ステップ毎に動きます。

(2) 右に早回転（連続2回以上クリック）すると連続送りになります。

・12時位置手前で停止させて、1回クリックずつ送って合わせてください。

注意 秒針は逆転で修正することができません。

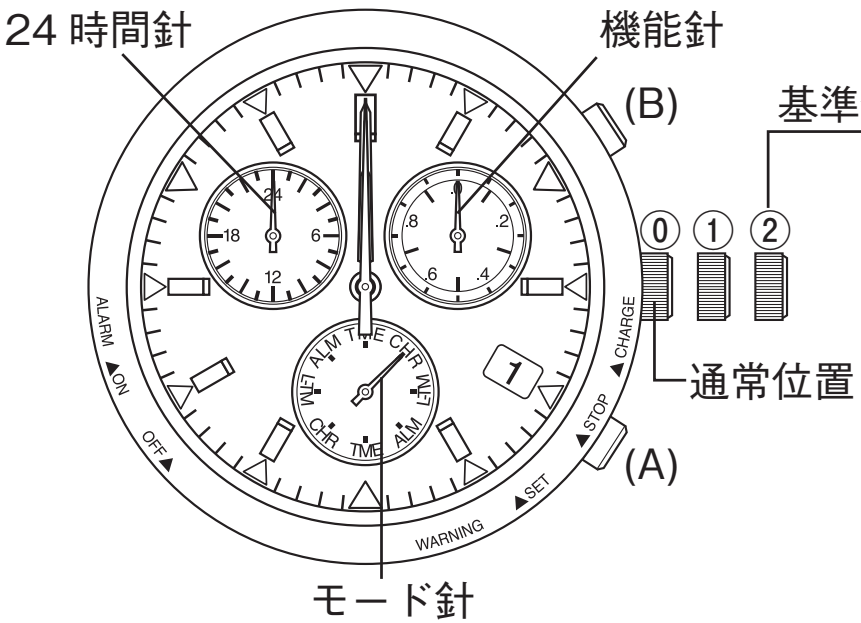
・りゅうずを通常位置に押し込めば基準位置修正は終了です。

・基準位置修正を行ったあとは時刻、日などの各モードを正しく合わせ直してからご使用ください。

7. オールリセットについて

静電気の影響や強い衝撃などにより、時計が正しく作動しないことがあります。このような場合にはオールリセットを行い、基準位置合わせを行ってください。

【正しい基準位置】



針・日が正しい基準位置になく、異常な表示／動作（止まり）をしたときにオールリセット操作を行ないます。

オールリセットを行う際は十分充電し、1秒運針をしていることを確認してから行ってください。
充電不足の状態でオールリセットを行うと、オールリセット後の操作ができず、時計が止まったままの状態になります。

1. りゅうずを1段引き位置で回転させて、モード針をクロノグラフ「**CHR**」モードに合わせます。
2. りゅうずを2段引き（基準位置修正状態）にします。
   - 各針および、日が記憶している基準位置に移動して停止します。
3. (A)、(B) ボタンを同時に押し、離します。
   - 確認音が鳴った後、秒針→時針・分針・24時針→機能針・日の順でデモンストレーション運針を行い、オールリセットが終わったことを知らせます。
4. りゅうずを通常位置まで押し込むと、オールリセットが終了します。

注意　オールリセット後は、必ず各針の基準位置修正を行ってください。その後、各モードを正しく合わせ直してからご使用ください。

エコ・ドライブ取り扱い上の注意

《時計は常に充電を心がけてお使いください》

■ 日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。

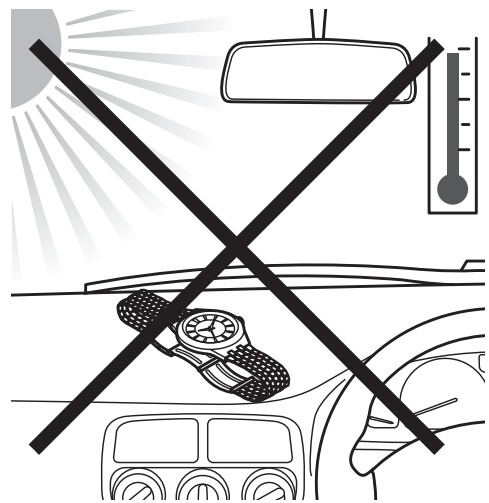
■ 時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

⚠注意　充電上の注意

・充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温（約 60℃以上）での充電は避けてください。

例）

- 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電
  ※白熱灯で充電するときは、必ず 50cm 以上離して時計が高温にならないように注意して充電してください。
- 車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電



＜二次電池の交換について＞

・この時計に使われている二次電池は充電を繰り返し行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。ただし、長期間使用されますと、歯車の汚れ、油切れなどにより電流消費が大きくなり二次電池の容量が早くなくなります。定期的な分解掃除（有料）をお奨めします。

⚠警告　二次電池の取り扱いについて

・お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。万一、二次電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
・一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。

⚠警告　指定の二次電池以外は使わないでください

・この時計に使われている二次電池以外の電池は､絶対に使用しないでください。他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池など、他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

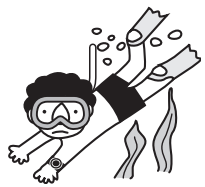
お取り扱いにあたって

⚠警告　防水性能について

- 日常生活用防水時計（3 気圧防水）は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
- 日常生活用強化防水時計（5 気圧防水）は、水泳などには使用できますが、素潜り（スキンダイビング）やスキューバ潜水などには使用できません。
- 日常生活用強化防水時計（10/20 気圧防水）は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

- 時計の文字板および裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下表を参照して正しくご使用ください。（1bar は約 1 気圧に相当します）
- WATER RESIST（ANT）×× bar は W.R. ×× bar と表示している場合があります。
- 非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。

名称	表示 文字板または裏ぶた	仕様
非防水時計	――――――	非防水
日常生活用防水時計	WATER RESIST（ANT）	3 気圧防水
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST（ANT）5 bar	5 気圧防水
	WATER RESIST（ANT） 10/20 bar	10 気圧防水、 20 気圧防水

	使用例				
					
	水がかかる程度の使用。（洗顔、雨など）	水仕事や一般水泳に使用。	スキンダイビング、マリンスポーツに使用。	空気ボンベを使用するスキューバ潜水に使用。	水滴がついた状態でのりゅうずやボタンの操作。
	×	×	×	×	×
	○	×	×	×	×
	○	○	×	×	×
	○	○	○	×	×

⚠注意　人への危害を防ぐために

・幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
・激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
・サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
・バンドの中留め構造によっては着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
・時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

⚠注意　使用上の注意

・りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
・水分のついたままりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
・万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。

・時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
 - 海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。
 - 水道水を蛇口から直接時計にかけない。
 - 入浴するときは時計をはずす。
・時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、りゅうず、プッシュボタンなど）が外れる危険があります。

⚠注意　携帯時の注意

＜バンドについて＞

・皮革バンドやウレタンバンド（ゴムバンド）は、汗や汚れにより劣化します。定期的な交換を行ってください。
・皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。（脱色、接着はがれ）また、かぶれの原因にもなります。
・皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
・バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
・ウレタンバンド（ゴムバンド）は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの（衣類、バッグ等）と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取り替えください。

・以下の場合は、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
- 腐食により、バンドに異常が認められたとき
- バンドのピンが飛び出しているとき

・お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする怖れがあります。（製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く）バンドの調整は、お買い上げ店または、シチズンカスタマーサービスお客様修理受付係にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

＜温度について＞

・極端な高温 / 低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

＜磁気について＞

・アナログ式クオーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。

＜ショックについて＞

・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

＜静電気について＞

・クオーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

＜化学薬品・ガス・水銀について＞

・化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

＜保護シールについて＞

・時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

⚠注意　時計は常に清潔に

・りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
・ケースやバンドは、肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
・ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。
・汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、はけなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
・皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

時計のお手入れ方法

・ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
・金属バンド・プラスチックバンド・ウレタンバンド（ゴムバンド）は水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで除去してください。
・皮革バンドは乾いた布などで拭いて汚れを除去してください。
・時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。
この塗料は太陽光や室内照明(白熱灯を除く) などの光を蓄え､暗い所で発光します。
・蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ（輝度）は落ちていきます。
・光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間や蓄光塗料の量などによって、発光する時間に差異が生じます。
・光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

保証とアフターサービスについて

＜保証について＞

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

＜修理用部品の保有期間について＞

当社は時計の機能を維持するための修理用部品を、通常７年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

＜修理可能期間について＞

当社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

＜ご転居・ご贈答品の場合＞

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

＜定期点検（有償）について＞

・防水性能について
防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に永くご使用いただくために２～３年に一度防水検査を行なっていただくことをお勧めします。防水性能を維持するためには、部品の交換が必要ですので、パッキングなどの交換をご依頼ください。

・分解掃除（内装修理）について
腕時計を永くご愛用いただくには分解掃除（内装修理）が必要です。歯車などの部品は永くご使用いただくことにより磨耗してしまいますが、これを抑えるために潤滑油を使用しております。しかし経年劣化により潤滑油の汚れなどで部品の磨耗が進み、故障に至ることがあります。目安として５ 年に一度の分解掃除のご依頼をお勧めします。

＜その他お問い合わせについて＞

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

仕　様

機種：E820

型式：アナログソーラーパワーウオッチ

時間精度：平均月差± 15 秒
常温（＋ 5℃～ 35℃）携帯時

作動温度範囲：－ 10℃～＋ 60℃

表示機能

・時刻：24 時間、時、分、秒
・カレンダー：パーペチュアルカレンダー（2100 年 2 月 28 日まで）
日表示
秒針による月表示
機能針による年表示（うるう年からの経過年…修正時のみ）
・クロノグラフ：60 分計、1/20 秒単位、自動停止機能付き
・ローカルタイム：時差修正（1 時間単位）
・アラーム：24 時間制

・秒針停止機能：２段引き
・基準位置確認：修正機能
・機能針：モード針＝表示機能

付加機能：・光発電機能
・パワーセーブ機能、アラームモニター、アラーム ON/OFF
・充電警告機能
・時刻合わせ告知機能
・過充電防止機能

持続時間：・充電完了～停止（パワーセーブ作動時）：約２年
・充電完了～停止（パワーセーブが１日に 7.5 時間作動時）：
約８カ月
・充電警告機能が作動してから停止まで：約 11 日

使用電池：二次電池（ボタン型リチウム電池）１個

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

HAE01 ③
CT083

http://citizen.jp/

Cal.E820